

科 目 名	知 覚 心 理 学						開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	蘭 悠 久							
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	本講義は、錯視や知覚の恒常性などの感覚・知覚現象を紹介して、それらの現象が生じる原因や現象の性質を調べた実験心理学的研究と生理学的研究の知見をとおして感覚・知覚の情報処理のしくみと心の働きを理解することをねらいとする。具体的には、視覚（物体の形状の知覚、明るさ・色の知覚、奥行きの知覚、運動物体の知覚）、聴覚、嗅覚、味覚、皮膚感覚、他感覚相互作用、心理物理的測定法および生理学的研究法などについて講義する。							
授 業 の 到 達 目 標	一見当たり前のように見えている世界がどのような情報処理により生じているのか、また、心の働きとは何かということを理解する。							
学 習 方 法	講義、ビデオ視聴など							
テキスト及 び参考書等	参考書 城一夫編（2009）色のしくみ 新星出版会 北岡明佳（2010）錯視入門 朝倉書店 三浦佳世（2007）知覚と感性の心理学 紀伊国屋書店 知覚は幻 日経サイエンス社 ラマチャンドラン・ラマチャンドラン（2010）別冊日経サイエンス 知覚は幻 日経サイエンス社 藤田一郎（2007）見るとはどういうことか脳と心の関係をさぐる 化学同人 北岡明佳編（2011）知覚心理学 ミネルヴァ書房 菊地正（編）（2008）感覚知覚心理学（朝倉心理学講座6）朝倉書店							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度		技能・表現			
定期試験	◎		○				100	
小テスト等								
宿題・授業外レポート								
授業態度								
受講者の発表								
授業への参加度								
その他								
合 計							100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	授業の説明と知覚とは							
第 2 週	錯視 1							
第 3 週	錯視 2							
第 4 週	錯視 3							
第 5 週	知覚の恒常性							
第 6 週	運動の知覚							
第 7 週	形の知覚							
第 8 週	色の知覚							
第 9 週	奥行きの知覚							
第 10 週	視覚の生理学（1）							
第 11 週	視覚の生理学（2）・知覚の異方性							
第 12 週	聴覚・多感覚相互作用							
第 13 週	嗅覚							
第 14 週	味覚							
第 15 週	皮膚感覚など							
第 16 週	定期試験							
備 考								